

鮭鱒彙報第五十四号附錄

昭和二十七年十二月

鮭鱒彙報總目錄

自第一号
至第五十四号

北海道鮭鱒漁業協同組合

鮭鱒彙報總目錄正誤表

頁數	行數	誤	正
四	七	浩 [◎] 岸	沿 [◎] 岸
九	六	檜 [◎] 太鱒	樺 [◎] 太鱒
一〇	六	年次六	一行右に よせる
一一	八	鱒 [◎]	鱒 [◎]

凡 例

- 一、本篇は鮭鱒彙報第一卷第一號より終刊の第五十四號までを収録した。
- 二、本誌は昭和四年五月に創刊して以來戰時數年間の休刊を除き毎回数回発行されたが昭和十年二月に卷を改めて年次とし號数は創刊號よりの発行数を逐ふて第七年第二十六號として爾來此の体裁を踏襲したが昭和十七年五月三十日の発行より年次を冠することをやめ單に號を表すことにし第五十四號を以て終刊とした。
- 三、本篇は大別して論文篇と彙報篇との二部とした、論文篇には論說、論叢、資料、講演、講義、抄録等の諸欄に掲載されたものを収録した。
以上の外のは彙報篇に收め時報、趣味、雜文の諸欄の分と寫真とに類別した。
- 四、排列の方法は發表者氏名(又は發表機關名)のABC順に従つたが時報の分は發表號數の順によつた。
- 五、發表者氏名(又は發表機關名)の次に發表年次を、題名、卷(又は年)、號數の順に記載した。
二以上の號數を合併発行した分のものには號數の上に合と記した。
- 六、本誌發行機關の事務報告事項(會報、會告等)は全部省略した。

● 論 文 編

発 表 者	年 次	題 名	年 卷	號
青 山 吟 三 郎	六	西別孵化場鑿井工事に就て	三	二
青 木 廉	一 二	鮭卵の吸水現象に関する二、三の觀察	九	三三
赤 根 金 太 郎	一 三	民間池中養鮭事業の实例	一〇	三五
千 葉 卓 夫	一 三	尾幌川の鮭孵化成績と親魚遡上時の水質に就て	一〇	三八
江 口 秀 雄	五	鱒と條蟲に就て	二	一、三
江 口 弘	二 五	養魚池の浮游性藍藻類が水質及び魚類に及ぼす影響に就て	二	五〇
藤 田 經 信	五	サケの寄性蟲と洄游問題	三	一
〃	六	北米合衆國の五ヶ年計畫の水産大擴張案	三	二
〃	六	鱒類の精卵	三	四
〃	一〇	米國プリストル湾の鮭禁漁と蕃殖問題	七	二七
〃	一 一	鱒の陸封に就て	八	二八
〃	一 二	鈴木牧之著北越雪譜を薦む	八	三〇
〃	〃	鱒族の食餌	八	三〇
〃	〃	鮭鱒講話	九	三四
半 田 芳 男	五、六	北海海に於ける鮭鱒孵化事業の成績並に今後改善を要する事項	三	四、五
〃	六	鮭鱒の話	三	一一
〃	八		五	一

北海道廳水産課	八	河口及海面産鮭親魚の採卵に就て Salmon Propagation in Hokkaido	一	四
花岡 謹一郎	八	本道養鱒事業の瞥見	一	四
羽田 良禾	九	樺太鱒の回歸に就て	一	三
平野 義見	九	大島博士の努力を要する鮭鱒蕃殖事業を讀みて	一	三
畑 久三	九	根室地方に於ける四十三年前の鮭に關する調査資料	一	三
久三	九	鮭鱒浩岸漁業の更生策	一	三
久三	九	標識放流より觀たる秋鮭の洄游經路	一	三
久三	九	時局下の鮭鱒孵化事業に望む	一	三
久三	九	鮭鱒養殖水産組合から協同組合へ	一	三
久三	九	北海道に於ける鮭鱒保護河川制度の變遷	一	三
久三	九	終刊の辭	一	三
久三	九	各種鱒稚魚の酸素消費量に就て	一	三
久三	九	誘蛾燈の養鱒上に及ぼす効果	一	三
久三	九	虹鱒に於ける雌雄性の問題	一	三
久三	九	溶存酸素欠乏の水棲動物に及ぼす影響	一	三
久三	九	沿海州の樺太鱒に就て	一	三
久三	九	シロザケとアキザケ	一	三
久三	九	北海道鮭鱒孵化事業要覽	一	三

北海道鮭鱒孵化事業協会	四	北見國沿岸に於ける鮭洄游調査	一	三
北海道鮭鱒孵化場	四	鮭鱒漁業と造田事業との衝突	一	三
五十嵐 彦仁	四	本年度西別孵化場に於ける櫻鱒蓄養成績	一	三
井上 喜平治	七	鮭鱒稚魚漁獲調査成績	一	三
乾 文 芳	九	鮭鱒孵化事業の移管	一	三
川尻 稔	九	イカリムシ本道に発生す	一	三
川村 輝良	四	河川を汚濁する天然廢水	一	三
川合 豊太郎	四	鮭稚魚の査定(抄録)	一	三
菊地 覺助	四	鮭鱒魚洄歸の実例	一	三
菊地 覺助	四	養鱒池の消毒法(抄録)	一	三
小 林 教司	五	占守島別飛川のプランクトン	一	三
小 林 教司	五	鱒類の洄歸性を証する二、三に就て	一	三
小 林 教司	五	孵化事業雜感	一	三
小 林 教司	五	虹鱒稚魚の豊平川へ移植	一	三
小 林 教司	五	卵子運搬器に就て	一	三
小 林 教司	五	鮭鱒稚魚の愛護に就て	一	三
小 林 教司	五	考ふべき問題	一	三
小 林 教司	五	養殖界の恩人藤村信吉を憶ふ	一	三
小 林 教司	五	鮭鱒孵化事業発祥の地に記念碑建設に就て	一	三

岸田 敏明	二二	鮭鱒孵化場所感	四四
" "	二四	鮭鱒の天然孵化と人工孵化について	合(四八)
" "	二五	再び鮭鱒の天然孵化と人工孵化について	五一
" "	二七	鮭鱒増殖協議会から得た感想	五四
久保伊津男	一三	虹鱒の種類に就いて(抄録)	三六
木村 錦郎	一五	石狩川に於ける鮭親魚の採卵に就て	四一
久保伊津男	一三	米國の鮭人工孵化技術と北海道の技術	五三
桑山 覺	四	新潟縣三面川に於ける鮭の魚獲高と二三の氣象要因との關係に就て	三七
小林 久雄	一一	魚類餌料としての毛翅目の昆虫	一〇
小林 教司	一三	日本産鮭鱒類の寄生蟲	一
" "	一〇	鮭鱒稚魚の豊平川移植試験	一〇
" "	七	鮭卵の重壓に對する抵抗試験	八
小石 季一	一一	阿寒湖の公魚	二八
近藤 賢藏	一五	北見地方の鮭鱒孵化事業に對する障害	二九
		鮭鱒稚魚の壮行会の開催	二九
		北海道鮭鱒孵化事業奨励の成績	二九
		大沼の養殖事業	二九

越田 秀包	一七	ウルモベツ湖へ鮭洄歸す	四二
" "	九	姫鱒の池中採卵	一
" "	一〇	新潟縣の鮭増殖現況	二七
駒井 卓	一一	越後の色鯉とその飼育法	三〇
小久保 清治	一二	鮭の稚魚に現はれる重複畸形と内臓逆位	三二
" "	一〇	鮭の地方的習性は遺傳するか	三七
前田 敬治郎	一五	最近の加奈陀及北米に於ける鮭鱒の研究	三九
阿部 永吉	一六	鮭の雜種	二
三原 健夫	一三	二木城川鮭親魚營養試験に就て	三四
柴田 幸一郎	一五	國後島産鮭鱒に就て	三六
" "	一二	胡瓜魚の孵化に及ぼす比重の影響に就て	四〇
三原 健夫	二四	統計から見た鮭の洄歸に就て(石狩川)	四四
元田 茂	二四	鮭鱒の洄游経路について	合(四八)
" "	二四	手製の観測器具二、三	合(四八)
並木 延郎	二九	北海道湖沼案内(上、中、下)	合(四八)
" "	二九	十勝孵化場に於ける移植鮭の洄歸	合(四八)
" "	二九	楊子江流域の淡水魚(上、中、下)	合(四八)

柴田 幸一 繁郎	二	千歳川で捕獲された鮭の兩性に就て	二	合
伊根 秀三 郎	三	齋藤光雄君の「鮭鱒卵の卵膜軟化症に就きて」を讀みて	二	四
關田 潤助	一	北海道水産孵化場所属淡水魚標本目錄	三	四三
高田 幸二	三	虹鱒「スコリオゼ」のX線による觀察	三	一
	三	鮭卵の鹽化鐵溶液による膨化及縮化の際に於ける体積比重及半徑に就て	三	三
	六	鮭成熟卵と水中投入後の受精卵の重量の差異に就て	三	三
	六	水性菌着生防止についての R. E. Barlow の論文を讀みて	二	三
	二	酸素の不足が魚族に及ぼす影響に関する試験	二	三
	一	当路湖調査概要	二	三
高安 三三 次	一	西別孵化場鮭卵被害狀況	二	合
高安 三三 次	二	最近本道孵化場に起れる鮭卵の病害の原因に就て	二	六
近藤 賢藏	一	西別鮭鱒孵化場に發生せる水棲菌に就て	二	二
武田 志麻之輔	一	各種水棲菌の見分け方	二	二
	一	虹鱒の新しい病氣	二	二
	一	鮭鱒の鱗色に及ぼすシヤン化物の影響	二	二
	一	標識鮭の回歸狀況	二	二
	一	鮭鱒孵化事業にフォルマリン液の使用を奨む	二	二
	一	フォルマリン使用に依る孵化法	二	二
田中 林藏	一	鮭生殖素に関する研究	二	二
	一	鮭鱒類研究の現状	二	二
	一	北海道湖沼の成因	二	二
	一	洞爺湖	二	二
	一	魚鱗研究に関する文獻目錄	二	二
	一	孵化場の經營に就て	二	二
	一	当幌川下流捕獲場に於ける鮭鱒親魚捕獲採卵に就て	二	二
	一	西別孵化場鮭(櫻鱒)親魚蓄養試験	二	二
	一	摩周湖虹鱒移植及其成績	二	二
	一	昭和十二年度石狩川鮭採卵概況	二	二
	一	鮭鱒類稚魚の白点病と海水	二	二
	一	マスノスケの卵と稚魚	二	二
	一	北米に於ける鮭鱒人工繁殖の現況	二	二
	一	北海道における養鯉成績	二	二
	一	鯉稚魚の天然餌料に関する二、三の觀察	二	二
	一	鮭池中飼育の一記録	二	二
	一	魚類の精子の活動に関する二、三の觀察	二	二
	一	鮭鱒漁業及孵化事業と統計について	二	二
	一	朝鮮に於ける鮭鱒の分布に就て	二	二

柴田 幸一 繁郎	二	千歳川で捕獲された鮭の兩性に就て	二	合
伊根 秀三 郎	三	齋藤光雄君の「鮭鱒卵の卵膜軟化症に就きて」を讀みて	二	四
關田 潤助	一	北海道水産孵化場所属淡水魚標本目錄	三	四三
高田 幸二	三	虹鱒「スコリオゼ」のX線による觀察	三	一
	三	鮭卵の鹽化鐵溶液による膨化及縮化の際に於ける体積比重及半徑に就て	三	三
	六	鮭成熟卵と水中投入後の受精卵の重量の差異に就て	三	三
	六	水性菌着生防止についての R. E. Barlow の論文を讀みて	二	三
	二	酸素の不足が魚族に及ぼす影響に関する試験	二	三
	一	当路湖調査概要	二	三
高安 三三 次	一	西別孵化場鮭卵被害狀況	二	合
高安 三三 次	二	最近本道孵化場に起れる鮭卵の病害の原因に就て	二	六
近藤 賢藏	一	西別鮭鱒孵化場に發生せる水棲菌に就て	二	二
武田 志麻之輔	一	各種水棲菌の見分け方	二	二
	一	虹鱒の新しい病氣	二	二
	一	鮭鱒の鱗色に及ぼすシヤン化物の影響	二	二
	一	標識鮭の回歸狀況	二	二
	一	鮭鱒孵化事業にフォルマリン液の使用を奨む	二	二
	一	フォルマリン使用に依る孵化法	二	二
田中 林藏	一	鮭生殖素に関する研究	二	二
	一	鮭鱒類研究の現状	二	二
	一	北海道湖沼の成因	二	二
	一	洞爺湖	二	二
	一	魚鱗研究に関する文獻目錄	二	二
	一	孵化場の經營に就て	二	二
	一	当幌川下流捕獲場に於ける鮭鱒親魚捕獲採卵に就て	二	二
	一	西別孵化場鮭(櫻鱒)親魚蓄養試験	二	二
	一	摩周湖虹鱒移植及其成績	二	二
	一	昭和十二年度石狩川鮭採卵概況	二	二
	一	鮭鱒類稚魚の白点病と海水	二	二
	一	マスノスケの卵と稚魚	二	二
	一	北米に於ける鮭鱒人工繁殖の現況	二	二
	一	北海道における養鯉成績	二	二
	一	鯉稚魚の天然餌料に関する二、三の觀察	二	二
	一	鮭池中飼育の一記録	二	二
	一	魚類の精子の活動に関する二、三の觀察	二	二
	一	鮭鱒漁業及孵化事業と統計について	二	二
	一	朝鮮に於ける鮭鱒の分布に就て	二	二

● 彙 報 編

● 時 報

著 者	題 名	年 卷	號
北海道鮭鱒孵化事業協会 以下同	第二回鮭鱒孵化技術実習生養成 三年度道内孵化場親魚捕獲採卵状況 民営孵化場の新設並に増設 昭和三年度鮭鱒卵分譲状況 水産奨励金下付の状況 官営孵化場の本年度事業計畫 水産奨励規程中の人工孵化事業計畫様式 ホワイトフィッシュ(白鮭)の移植 昭和四年度孵化事業打合せの概況 鮭鱒孵化併置許可 孵化場技術員異動 寄贈圖書 擇捉島にて放流の時不知鮭「オホツク」洲沿岸にて捕 獲せらる 鮭回歸の実例 「スチールヘッド・トラウト」の移植 「からふとます」稚魚標識放流	一	三

水産奨励金下付状況 孵化場鮭親魚捕獲採卵状況 民営孵化場の新設増設並に改造 第三回鮭鱒孵化技術練習生募集 播かぬ種子は生えぬ 孵化場鮭親魚捕獲採卵状況 民営孵化場の擴張	四
朱太孵化場産鮭卵滋賀外二縣に移殖す 鮭及樺太鮭卵無償配布 孵化場鮭親魚捕獲採卵状況 昭和四年度第一期及第二期鮭鱒漁獲高 米國産「クラッピー」蓴菜沼に移殖 四年度鮭鱒孵化事業実習生 孵化事業報告に關する注意 道内孵化場鮭親魚捕獲採卵状況 鮭種卵配付 水産奨励金下付出願と請求に付いて 北海道糖会社工場の廢液による十勝鮭鱒孵化場の被害 鮭回歸の実例 阿寒湖の鮭移植成功す 露國産白「ます」の大沼洞爺湖移植 鮭及虹鱒種卵分譲	二
	三

	<p>虹鱈種卵配付 道内孵化場鮭親魚捕獲採卵状況 鮭鱈孵化事業打合せ 鮭鱈孵化事業実習生養成終了 北海道廳孵化場擔当区域変更 鮭鱈孵化事業協議会 霞ヶ浦産鮭 本年度孵化場鮭鱈親魚捕獲採卵状況 支笏湖の姫鱈 摩周湖の虹鱈 「クロー・ライツシユ」(淡水大蝦) 移植 第四回鮭鱈孵化技術練習生募集 本年度孵化場鮭鱈親魚捕獲採卵状況 支笏湖の姫鱈 昭和五年度第一期、第二期鮭漁獲高 鮭卵卵膜病発生 水産奨励金下付状況 支笏湖及然別沼に米國産河鱈の移植 鮭回歸率の面白き実例 道内孵化場鮭親魚捕獲採卵状況 昭和五年度鮭漁獲高 孵化場鮭親魚捕獲採卵成績 虹鱈種卵配付</p>	<p>三 二 一 六五 四</p>
--	---	-----------------------

	<p>孵化事業実習生養成終了 昭和五年度鮭鱈漁獲高 鮭鱈孵化事業協議会 本年度孵化場鮭鱈親魚捕獲採卵状況 樺太鮭石狩川移植試験結果 孵化場新設許可 鮭親魚の利用試験 昭和六年度鮭鱈親魚捕獲採卵状況 大沼にて肥大せる虹鱈を漁獲す 保護河川の追加 昭和六年本道鮭鱈漁獲高 昭和六年度鮭親魚捕獲採卵成績 保護河川湖沼の指定 官営孵化場事業打合せ 鮭鱈種卵配付状況 昭和六年度本道鮭鱈孵化事業成績 昭和六年度鮭人工孵化事業調 昭和六年度鮭人工孵化事業調 七年度鮭親魚捕獲採卵状況 孵化事業許可 孵化事業補助 鱈、時不知漁況</p>	<p>四 四 三 二 一 五 四 三</p>
--	---	----------------------------

<p>鮭類飼育成績 鮭類孵化事業補助金決定 道会議員有志千歳孵化場採卵場視察 膽振水産会孵化事業剩始二十周年記念祝賀会 昭和七年鮭孵化事業成績 昭和七年鮭採卵成績 昭和七年度鮭漁獲高 光榮の虹鮭 谷茂平氏の表彰</p>	<p>北千歳鮭鮭流網漁業許可 鮭稚魚の放流方法 官宮孵化場事業打合せ 摩周湖に於ける虹鮭採卵成績 湖沼養殖協議会</p>	<p>全國河川湖沼養殖研究会 孵化事業經營者協議会 鮭類人工孵化場設置許可</p>	<p>鮭類孵化事業官宮實現近かるべし 本年度の鮭漁況 昭和八年度鮭類捕獲採卵成績(十一月末日現在) 昭和八年度鮭類採卵成績 北千歳鮭鮭流網漁業に對する沿岸漁業關係者の對策 石狩川後期鮭採卵試験</p>
一	二	三	四

五			

北海道鮭類保護協会

<p>孵化実習生の入場許可 鮭類種卵分與 北千歳合同漁業株式会社剩立さる 西別孵化場の改稱 鮭漁獲高 鮭漁獲高 移管孵化場勤務者氏名 北千歳虹鮭人工孵化施設 昭和八年度全道鮭親魚捕獲採卵成績 種卵分與 鮭類飼育成績 鮭類孵化事業補助一覽表 孵化事業經營者の異動 洞爺湖の虹鮭親魚の小形 緋鮭の移植 湧別孵化場創立十周年及國宮移管記念式 鮭類孵化場の陳容愈々整ふ 全道湖沼養殖研究会 昭和八年度本道孵化事業成績 摩周湖に於ける虹鮭採卵成績附種卵分與 鮭の産額 北洋に於ける鮭類の標識放流</p>	二	三

六		

北海道鮭鱒保護協会
以下同

千歳孵化場の盛況
種卵分與
石狩川下流鮭親魚の採卵
親魚捕獲委託事務打合せ
北千島鮭鱒産額
孵化事業官宮移管祝賀会
昭和九年度鮭人工孵化事業成績
昭和九年度鮭人工孵化事業成績
鮎の産額
河鱒種卵の配給
第三回全道湖沼養殖研究会
全道湖沼養殖研究会の本会加入
本道沖合の鮭鱒漁獲状況
昭和十一年度北千島鮭鱒漁業成績
標識鮭の再捕
昭和十年度鮭孵化事業概況
昭和十年度鮭孵化事業概況
昭和十年度民富鮭孵化事業概況
昭和十年度民富鮭孵化事業概況
支笏湖鮭親魚の渡少
網走孵化場の公開と親魚廉賣
昭和十年度鮭親魚捕獲採卵成績
虹鱒種卵分與

八

七

二九

二八

二七

二六

北海道鮭鱒孵化場試験成績概報	三〇
北海道養鱒組合の設立	三〇
北海道湖沼養殖研究会の開催 民富孵化事業成績	三一
北海道鮭鱒孵化場の移轉 北海道鮭鱒孵化場採卵成績 山本勝見氏逝く 試験成績概報	三一
鮭鱒孵化事業成績 電燈利用檢卵檢野鼠除法 北海道鮭鱒孵化場移應式 支笏湖保勝会の創立	三三
北海道鮭鱒孵化場の擴張 昭和十二年度鮭採卵成績 昭和十二年度鮭採卵成績 擇提島鮭漁況	三三
北海道養鱒業者調 支笏湖鮭鱒の採卵状況 北千島占守島に於ける孵化場適地調査 鮭鱒種卵分與	三四
鮭鱒孵化場の陣容完成 昭和十二年度鮭採卵成績（一月末日現在）	三九

九

三四

三三

三三

三一

三〇

昭和十二年度鮭採卵成績（一月末日現在）
 北千島鮭漁業合同問題
 鮭卵の布上孵化法
 淡水魚に付けた標識の影響
 本道の鮭の分布
 昭和十二年度鮭親魚捕獲採卵成績
 昭和十二年度鮭孵化成績
 昭和十二年度鮭孵化成績
 昭和十二年度鮭孵化成績
 昭和十二年度鮭孵化成績
 昭和十三年度北海道鮭鮭孵化事業方案概要
 鮭鮭族魚類生態の連絡研究会議
 北海道北見國で捕れた鮭
 鮭鮭の生態的研究連絡打合せ
 北海道樺太兩廳水産事務協議会の開催
 昭和十三年度鮭親魚捕獲採卵成績
 昭和十三年度鮭親魚捕獲採卵成績
 支笏湖鮭鮭の採卵狀況
 擇捉島鮭漁況
 北海道鮭鮭保護組合設立せらる
 昭和十三年度鮭親魚捕獲採卵成績
 昭和十二年度鮭漁獲高調
 昭和十四年度北海道鮭鮭孵化事業方案概要
 虹鮭種卵分譲

三五	三六	三七	三八	三九
----	----	----	----	----

昭和十四年度鮭親魚捕獲採卵成績
 昭和十四年度鮭親魚捕獲採卵成績
 昭和十三年度鮭漁獲高調
 北海道鮭鮭保護組合の事業
 昭和十四年度鮭鮭漁獲高調
 昭和十五年度鮭鮭親魚捕獲採卵成績
 昭和十六年度（十一月卅日）現在鮭鮭親魚捕獲採卵成績
 北海道鮭鮭孵化場の改稱
 北海道水産孵化場支場移轉と事業場の廢止
 鮭鮭保護組合の改組
 鮭鮭稚魚愛護組合の誕生
 北海道養魚組合聯合会の誕生
 昭和十七年度鮭親魚捕獲採卵成績表
 昭和十七年度鮭親魚捕獲採卵成績表
 十勝支場昇格
 白人事業場に昇格
 十勝支場新裝成る
 北海道水産孵化場移轉十周年記念式典の概況
 昭和十八年度以降同二十一年度に至る鮭、鮭親魚捕獲採卵成績表
 (一)(二)(三)(四)(五)(六)(七)(八)

四〇	四一	四二	四三	四四
四〇	四一	四二	四三	四四 七六五

撮影、寄贈又は 編輯者氏名	名	稱	卷(年)	号
戸塚 九一郎	虹別孵化場創立五十周年を祝し所感を陳ぶ		一一	四一
富永 眞佐利	虹別の想ひ出		一一	四一
飛鳥 貫治	鮭鱒彙報の再興を祝す		一一	四一
内海 重左工門	在職二十有余年を顧みて		一一	四一
渡邊 宗重	千歳孵化場の思ひ出		一〇	三八
渡部 郁郎	千歳川鮭鱒漁の古事に就いて		一〇	三八
八木 安太郎	虹別孵化場の昔を語る		一一	四一
八木 繁次	当路孵化場を回顧して		一一	四二
山本 厚三	虹別孵化場創立五十周年を祝す		一一	四一
北海道鮭鱒孵化事業協会	千歳孵化場全景		一一	一一
"	北海道西別孵化場全景		一一	一一
"	支笏湖ト姫鱒孵化場		一一	一一
"	北海道廳留別鮭鱒孵化場全景		一一	一一
"	十勝鮭鱒人工孵化場		一一	一一

● 寫 眞

江 口 秀 雄	北海道鮭鱒孵化事業協会	樺太鱒産卵の爲大山川に逆上の壯觀 廣節裂頭條蟲	二	二
半 田 芳 男	北海道鮭鱒孵化事業協会	千歳鮭鱒孵化場事務所 留別鮭鱒孵化場事務所	二	三
菊 地 覺 助	北海道鮭鱒孵化事業協会	新装成た千歳孵化場所屬西越採卵場 アイヌ入西別川にてマレット使用鮭捕獲の圖	三	三
内 海 重左工門	北海道鮭鱒孵化事業協会	摩周湖の全景	三	四
菊 地 覺 助	北海道鮭鱒孵化事業協会	千歳孵化場第五孵化室	四	二
谷 茂 平	北海道鮭鱒孵化事業協会	ウルモベツ虹鱒孵化場	四	二
菊 地 覺 助	北海道鮭鱒孵化事業協会	稚魚流入防止装置	四	三
半 田 芳 男	北海道鮭鱒孵化事業協会	支 笏 湖	四	四
"	北海道鮭鱒孵化事業協会	釧路川鮭孵化場	五	一
"	北海道鮭鱒孵化事業協会	屈斜路湖口親魚捕獲場	五	一
半 田 芳 男	北海道鮭鱒孵化事業協会	改装成れる遊樂部川鮭孵化場	六	二
小 林 数 司	北海道鮭鱒孵化事業協会	長都養鱒場	六	一
田 中 林 蔵	北海道鮭鱒孵化事業協会	國後嶋の湖水	七	二
菊 地 覺 助	北海道鮭鱒孵化事業協会	摩 周 湖	七	六
	北海道鮭鱒孵化事業協会	支 笏 湖	七	七

半田芳男	捕魚車	八	二八
半田芳男	故小池仁郎氏	八	二九
岡田雋	故小池仁郎氏の面影と筆蹟	八	二九
半田芳男	潮と川	八	三〇
北海道鮭鱒孵化事業協会	北海道鮭鱒孵化場採卵場に於ける岡部侍從御一行	九	三一
渡邊宗重	新製の北海道鮭鱒孵化場	九	三一
北海道鮭鱒孵化事業協会	明石幸輔氏経営鮭鱒場	九	三一
半田芳男	北米便り	〇	三五
北海道鮭鱒孵化事業協会	千歳孵化場歴代の首班	〇	三八
半田芳男	過去の千歳孵化場	〇	三八
北海道鮭鱒孵化事業協会	現在の千歳孵化場	〇	三八
半田芳男	小池仁郎翁銅像	〇	四〇
北海道鮭鱒孵化事業協会	虹別孵化場歴代の首班	一	四一
半田芳男	虹別孵化場	一	四一
北海道鮭鱒孵化事業協会	当路孵化場の景	一	四二
半田芳男	本会最後の總會出席者記念寫眞	一	四三

一、在庫號数 鮭鱒彙報在庫品分譲

卷数	号数	部数	号数	部数	号数	部数	号数	部数
第一卷	一	六	二	三	三	四	四	五、六
第二卷	一	二	二	品切	三	四	品切	五、六
第三卷	一	二	二	二	三	四	二	五、六
第四卷	一	二	二	品切	三	四	二	五、六
第五卷	一	二	二	二	三	四	七	五、六
第六卷	一	九	二	一四	三	四	七	五、六
	二十六号	五	三十三号	二二	三十九号	五五	四十三号	三一
	二十七号	一	三十四号	三	四十号	五四	(解散記念七七頁)	五十一号
	二十八号	二	三十五号	品切	四十一号	五六	(紀念八十六頁)	五十二号
	二十九号	二	三十六号	二	(紀念八十六頁)	五七	四十五、四十六	五十三号
	三十号	品切	三十七号	六	(紀念八十六頁)	五八	四十七、合併号	五十四号
	三十一号	一	三十八号	二	(紀念八十六頁)	五九	四十八、四十	
	三十二号	九	(紀念一六頁)		(紀念一八頁)		九合併号	

二、定價 第三八、四一、四二、四三号等の記念号は一册送料共金六十圓、其の他は一部送料共金參拾圓とする。

三、申込先 札幌市北二條西三丁目敷島屋ビル内、北海道鮭鱒漁業協同組合宛代金を添へて御申込み下さい。